

漢光演習40号



漢光演習40号プロモーションビデオ
(資料源：軍事新聞通訊社)

2024. 8. 30

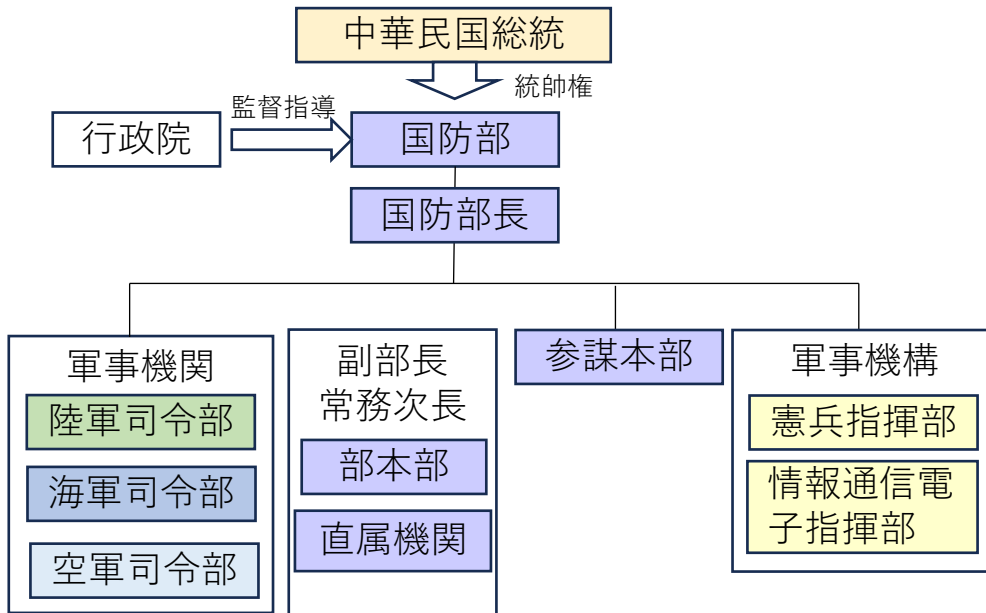
国家基本問題研究所 研究員 中川真紀

目 次

- 1 台湾軍と漢光演習の概要
- 2 演習の推移と中国の侵攻様相
- 3 漢光演習40号の注目点

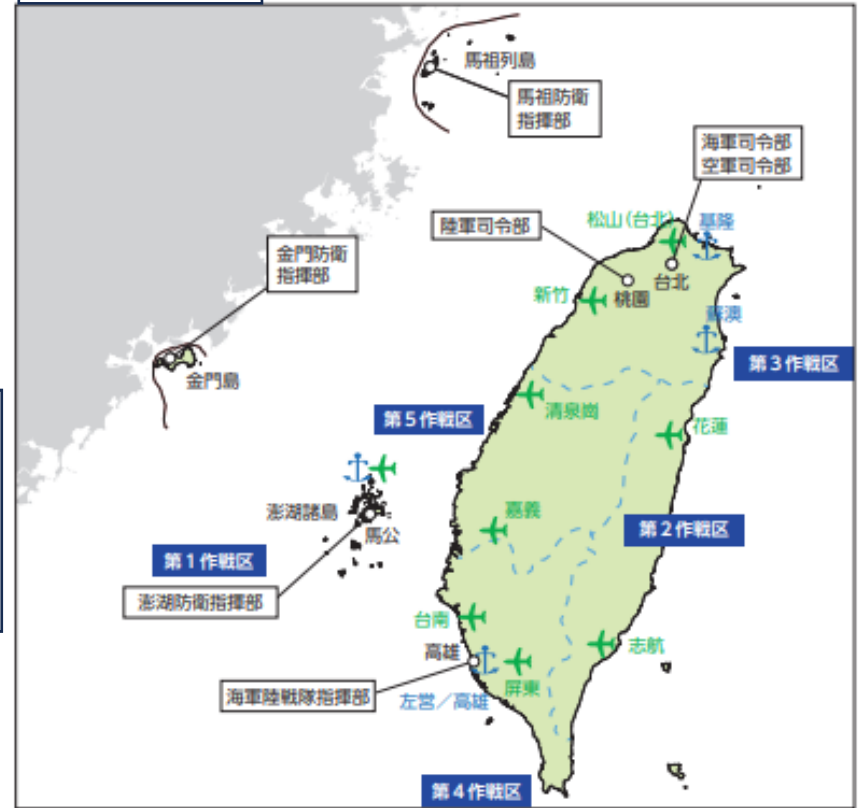
台湾軍（中華民国国軍）の概要

組織図



(資料源：中華民国112年国防白書)

配置



(資料源：防衛白書2024)

中台戦力比較		中国 (東部・南部)	台湾
陸	戦車	1,100	900
	火砲	2,300	1,300
海	戦闘水上艦	104	26
	潜水艦	39	4
空	戦闘機	750	300
	爆撃機	300	0

海空軍及び台湾未保有のロケット軍は台湾を圧倒

(資料源：2023 Report on the Military and Security Developments Involving the People's Republic of China)

漢光演習40号

漢光演習

- 台湾軍**最大規模の三軍統合**年次軍事演習
- 指揮所演習と実動演習の二本立て

漢光演習40号

- ① 指揮所演習：4/19～26（8日間）
グレーゾーン～台湾封鎖～快速台湾侵攻を想定した旅団級以上が参加するCPシュミレーション演習
- ② 実動演習：7/22～26（5日間の予定も台風により1.5日短縮し7/25終了）
 - 以下の**政府・民間と連携した演習**も並行して実施
 - ・ 万安演習：退避等の**防空**訓練
 - ・ 民安演習：戦争災害**救助**訓練
 - ・ 同心演習：招集令を発出しての**国防動員**訓練
 - ・ 自強演習：**軍需物資**の調達・運搬・生産等の訓練

- 年毎に中国軍の**侵攻様相の変化**を想定として反映
- 政府・民間も参加する**戦時の国家の実情を考慮**した訓練

演習の推移と中国の侵攻様相

	(7/20-21)	7/22	7/23	7/24	7/25 (午後以降中止)	7/26
演習科目	グレイゾーン段階での侵攻兆候 →戦時移行	空軍機の退避 戦力保存	→ 空港補修			軍の再編成
		艦艇緊急展開 機雷敷設		→ 海上打撃	→	
		特殊部隊の浸透 阻止	→ 重要インフラ防護	→		
		軍需物資動員 海外物資輸送		離島での対上 陸戦闘	→ 本島での対着上 陸戦闘	→ 内陸部の防衛
		予備役招集編成	→ 予備役部隊 の都市防護			
	認知戦対処					
想定 の 侵 攻 様 相 (推 定)	侵攻準備	海上封鎖				
	ミサイル攻撃	部隊輸送のための海上・航空優勢獲得				
	特殊部隊浸透	特殊部隊による重要インフラに対する攻撃				
		上陸部隊の輸送			→ 後続部隊の輸送	
			離島上陸	本島着上陸 ・海岸堡確保 ・AbnHbn攻撃		内陸部への侵攻
		認知戦				

ミサイル攻撃への対処



戦力保存7/22 台東に転移するC130



緊急展開7/22 出港する補給艦「盤石」



駐屯地外展開7/23民間地でのヘリ給油・整備



ミサイル第1波は主に軍関連施設と想定⇒平時の位置から展開・運用

台湾の空軍機戦力保存

花蓮：佳山空軍基地



中国のミサイル標的：空軍基地

中国甘肅省射爆場



台湾清泉崗空軍基地



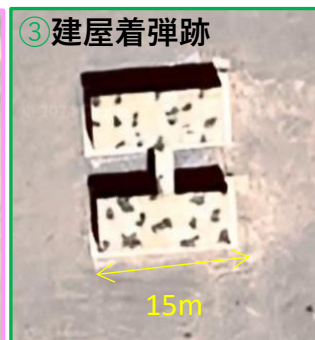
① 滑走路着弾跡



② 防空火器着弾跡



③ 建屋着弾跡



② 台湾防空火器



③ 台湾空軍建屋



中国のミサイル標的：海軍基地

中国甘肃省射爆場



台湾蘇澳海軍基地



注：2016年10月の画像では撤去確認



【参考】基隆級驅逐艦「蘇澳」



特殊部隊の浸透・攻撃への対処



特殊部隊が政経軍の重要施設を目標と想定⇒ 軍が警察・民防組織と協力し防護

総統府への浸透・攻撃への対処

淡水河障害設置7/22



交通要衝にて軍が規制
重要施設への浸透を阻止

憲兵指揮部・橋梁地下道規制7/23



華翠大橋規制7/22



中国の総統府への攻撃訓練

中国朱日和訓練場



模擬總統府での訓練



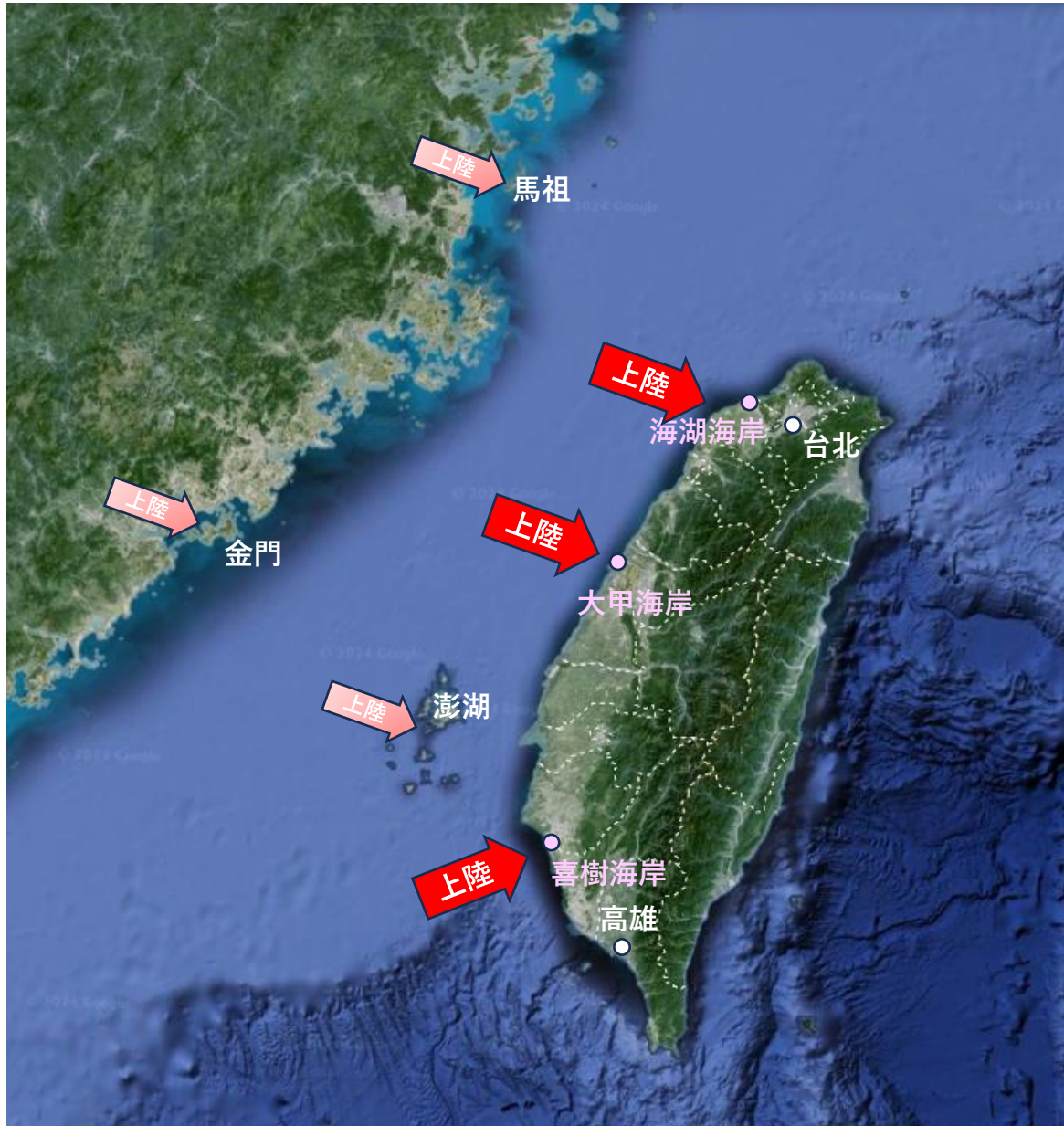
台湾台北市



実際の總統府



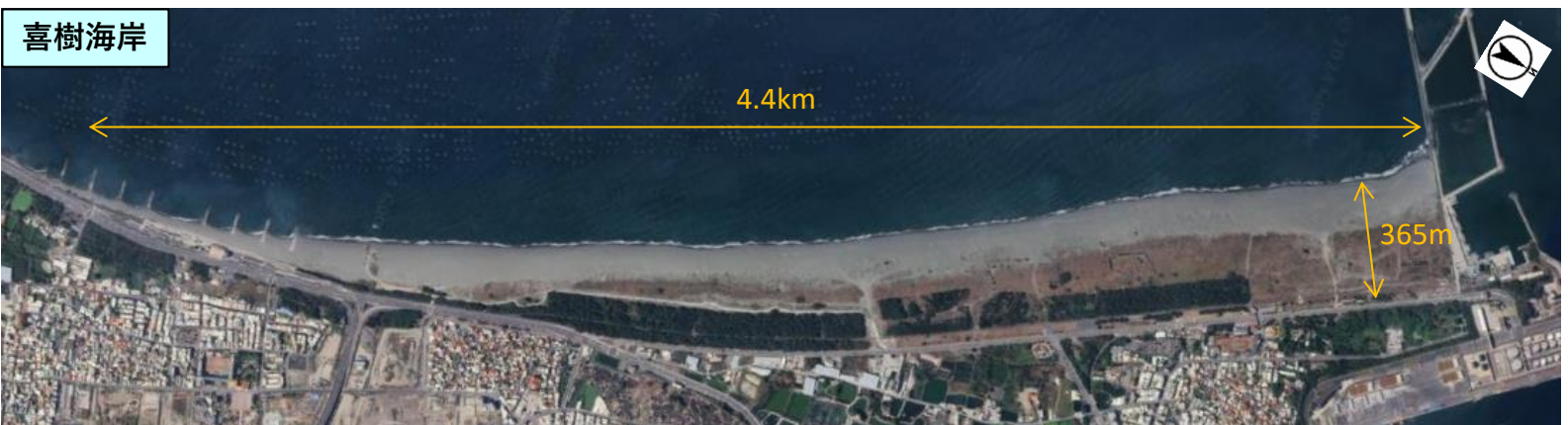
着上陸侵攻への対処



上陸地点は断定できないが、地形上上陸可能な地点で演練

(資料源：自由時報20240723)

漢光40号想定の上陸地点



中国軍の着上陸訓練場

福建省：東山島着上陸訓練場



ロータイプI型戦車揚陸艦
と水陸両用装甲車の訓練

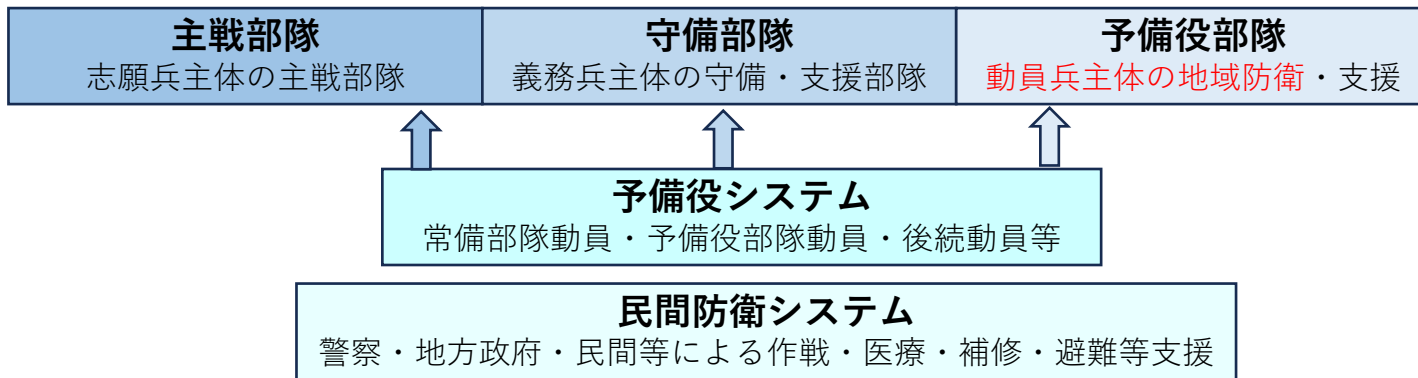


福建省：大呈湾着上陸訓練場



内陸部への侵攻への対処

台湾の全民国防体系



動員兵が担当防衛区に出頭7/22



動員兵物品受領7/22



動員兵部隊による都市防衛 7/23



地方都市での特殊部隊等の浸透・擾乱⇒ 予備役部隊で対処
海岸堡設定後の本格的内陸部侵攻⇒ 軍の再編成

海上封鎖等への対処

海外物資接受・輸送管制訓練

海外から花蓮港に輸送された戦略物資を国の統制の下、軍が警戒・接受し各戦区に輸送



軍需物資動員

自強演習と並行して実施、民間と連携した軍需物資の集積・輸送等を演練



中国軍が本年5月の「聯合利劍」演習で東岸の花蓮封鎖を想定
⇒ 花蓮港死守の意思を内外にアピールし、封鎖の威嚇に対抗

対認知戦

各作戦区に民間の報道クルーを派遣



国防部が演習地域から中継放送



AIアウンサーにより18の言語で放送



軍への事前通知

民間地域での訓練間、市民から防衛作戦や軍の規律等について、SNSへ問題のある投稿があっても部隊への処分はしない

- ⇒ ・ 部隊が訓練に専念できる環境付与
- ・ 潜伏する**工作人員の偽情報投稿**に対応

中国が台湾内外への認知戦展開⇒ **国際的な発信力、状況を直接伝達する体制を強化**

漢光演習40号の注目点

重視事項	考慮要因	漢光演習での実施状況（中止も含む）
政府・民間と連携した実戦的訓練	中国軍：侵攻準備の進展 ウ戦争：独裁国家の開戦ハードルの低さ ⇒ 侵攻がより現実的	○ 訓練場外の実地で実情に応じた作戦行動 認知戦へも対応 ○ 新交戦規則（ROE）の適応 通信遮断時に中央の統制なしにROEに基づき各部隊が独立的に作戦実施（報道上未確認）
重要施設防護	中国軍：特殊作戦用兵員・装備増強 ウ戦争：インフラ攻撃を多用	○ 交通要衝での規制： 政経中枢・重要インフラ施設に至る侵入ルートの遮断
継戦能力維持	中国軍：海上封鎖訓練を強化	○ 海外物資接受・輸送管制訓練： 花蓮を封鎖の突破口とアピール、国際的支援を期待
	ウ戦争：動員の困難性	○ 予備役招集：即時戦力化できる招集体制

侵攻が現実的との危機感の下、軍の統合訓練を主軸とし、それを支援する国家全体の防衛体制を確認すると共に中国の威嚇に対し継戦意思を国際社会にもアピール